



医療経営士ニュース | これからの医療現場を担う経営人材のための機関紙

MMS NEWS

2020 5 月号
Vol.111
毎月1回発行(通巻111号)
編集:日本医療企画

一般社団法人日本医療経営実践協会 〒101-0033 東京都千代田区神田岩本町4-14 神田平成ビル7F TEL.03-5296-1933 http://www.jmmpa.jp/

INTERVIEW



林 諄 (はやし・じゅん)
日本ヘルスケア経営学院学院長/
一般社団法人日本医療経営実践協会理事

感染症の歴史から何を学ぶべきか
歴史を振り返れば、人類はさまざまな感染症と闘ってきました。約1000年前、第一次世界大戦中に大流行したスペイン風邪は、2年間で世界人口の3分の1が感染し、大戦の終結を早めたと言われています。中国では王朝の興隆と衰退を「朝代循環」と呼び、王朝は天命を失ったときに滅びると考えられてきましたが、感染症の大流行は天命を失う兆候の一つだと見なされています。17世紀半ばまで

栄えた明は、ペストや天然痘の蔓延をきっかけに起きた各地の反乱により滅亡しました。その後、中国を征服した清もまた、ペスト対策を口実に他国の介入を招いた結果、日清戦争で敗北しました。こうした歴史を紐解くと、戦争や感染症がいかにかドラスティックに時代を変えてきたかがわかります。医療経営士の皆さんには、過去を冷静に分析し、次の時代を見据える力を養ってほしいと思います。

一人ひとりの良識や行動力が問われている
日本の緊急事態宣言には、海外で行われているロックダウン(都市封鎖)のように、人々の行動を強制する力はありません。外出自粛はあくまで要請であり、従うかどうかは個人の判断次第です。個人の権利が尊重される時代だからこそ、私は一人ひとりの良識や行動力が問われているの

だと思っています。医療経営士の皆さんにはそれを胆に銘じて、地域や医療機関を守るために何ができるかを考え、率先して行動することを期待しています。

今、医療の最前線では医師や看護師が感染の危険に晒されながらも、検査や治療にあたっています。医療経営士に求められる役割は、命を賭して職務を全うする医療従事者をバックアップしていくことだと思います。院内感染の防止に向けて何が必要か。感染防護具の調達はどうか。地域でどのような連携を図るべきか。皆さん一人ひとりのマネジメント力が試されています。同じ職場や地域、全国各地にいる医療経営士の仲間と協力して情報共有を図りながら、自らの存在感を存分に発揮し、活躍していただくことを願っています。

新型コロナ 感染拡大に伴う 緊急提言

今こそ医療経営士の出番 医療の最前線を守る行動を!

新型コロナウイルスの感染拡大により、緊急事態宣言が発令されました。感染拡大地域の医療機関では院内クラスターが発生するなど、今まさに医療崩壊の瀬戸際に立たされています。こうした状況下において、医療経営士は何をすべきか。当協会の理事で、日本ヘルスケア経営学院学院長の林諄氏にお話をうかがいました。

第9回 全国医療経営士実践研究大会

2020年
10月3日出
10月4日回

会場 六本木アカデミーヒルズ 港区六本木6丁目10番1号 六本木ヒルズ森タワー49F

東京大会

医療経営士の時代

新たな経営改革と地域社会貢献への挑戦
—今こそ問われる“突破力”と“創造力”

6月より参加エントリー
演題発表登録の受付開始!

創立
10周年記念
大会

安藤高夫 日本医療経営実践協会関東支部支部長
医療法人社団永生会理事長、衆議院議員

【事務局】 一般社団法人 日本医療経営実践協会 ☎03-5296-1933 http://www.jmmpa.jp/seminar/zenkokutai/

第9回 「全国医療経営士実践研究大会」 東京大会

大会プログラム決定！ 新型コロナウイルスに打ち勝ち、 秋の東京へ集結しよう

10月3日(土)・4日(日)に六本木アカデミーヒルズで開催される第9回「全国医療経営士実践研究大会」東京大会のプログラムが決定した。昨年開催された仙台大会の演題発表で受賞された5人の医療経営士から届いたメッセージとともに、今大会の概要を紹介する。新型コロナウイルスの感染拡大により混乱が続いているが、1日も早く事態が収束し、万全の体制で大会が迎えらることを期待したい。



過去最多、2日間で延べ450人が参加した
仙台大会

『国家の品格』の著者 藤原正彦氏が記念講演

大会1日目は、午前の部として、開会式のと、お茶の水女子大学名誉教授の藤原正彦氏による当協会の創立10周年を記念した講演「わが国はどこに向かうのか(仮題)」が行われる。藤原氏は日本人特有の伝統や価値観を重んじることの大切さを説き、大ベストセラーとなった『国家の品格』の著者として知られる。新型コロナウイルスの感染拡大により人類が戦後最大の

危機に瀕し、国際社会や国のあり方が改めて問われるなか、わが国は何を目標として、どのような国を築いていくべきなのか。新たな道筋を示す発言に注目したい。休憩を挟み、午後の部では、まず2本の基調講演を実施。厚生労働省医政局長の吉田学氏、一般社団法人日本病院会会長の相澤孝夫氏がそれぞれ登壇し、地域医療が抱える課題と将来展望について、異なる立場・視点から語っていただく。

その後、「全国医療経営士地域支部代表者講演」と題し、全国8つの地域支部を代表する8人の医療経営士が1人当たり約20分の講演を行う。今大会は創立10周年記念大会ということもあり、多くの招待客・参加者が来場する予定だが、医療経営士の価値を広く知らしめる意欲的な内容の講演が期待される。

続く特別座談会では、東京医科歯科大学大学院医療経済学分野教授の川淵孝一氏が座長を務め、医療経営士の資格の普及や育成等にご尽力いただいていた4人の登壇者と、経営人材の役割や地域貢献について白熱した議論を交わしていただく予定だ。

演題発表は「公募」のみ 積極果敢な挑戦を待つ！

活動成果の共有こそが 医療経営士全体の底上げに！



【審査委員奨励賞/公募】
松本裕樹氏 (東北支部)
石巻赤十字病院
総合患者支援センター地域医療連携係長

私たち医療経営士は、常に課題解決のために頭を悩ませ、行動していると思います。演題発表を行うことで少しでも解決の糸口になればと考え、挑戦しました。

プレゼンで、いつも気を付けていることは「明確なロジック」「しっかりとした裏付け」「明快な解釈」「心に響くストーリー性」です。仙台大会の演題発表においても、これらを重視し、TPOに合わせて資料を構成しました。

受賞後、今まで仕事で一緒した全国の多くの同胞からお声がけをいただきました。そのたびに、かつて一緒に取り組んだ内容が思い出され、次のステップへの糧となる思いです。

志を持って医療経営士になった皆様ですので、きっと何かしらの課題解決に取り組んでいることと思います。ご自身の活動の整理だけでなく、医療経営士全体のスキルや知識の底上げのためにも、ぜひ演題発表に挑戦してみませんか。

事務部門の意識変容と 行動の強化につながった



【審査委員奨励賞/支部推薦】
平間康宣氏 (北海道支部)
医療法人仁友会
仁友会本部本部長

当法人の事務部門では、部門内の取り組みや研究を学会等で積極的に発表することを推奨しています。部門の責任者(本部長という職位)として、率先した行動を示すためにも発表させていただきました。

事前準備として、注力したのは、「わかりやすいプレゼン資料の作成」です。これに尽きます。

当院の事務スタッフにとっては、自分たちの活動成果が全国に向けて発表されたことで、より一層、気を引き締めて取り組んでいかなければならないという意識変容と行動の強化につながったと思います。

演題発表は、自身および自法人の取り組みや研究成果の総括につながるという意味でも大変良い機会です。東京大会で発表される方は、わかりやすい資料、ストーリー、スピーチを意識して準備されると良いと思います。

仙台大会受賞者 からの メッセージ

東京大会の
演題発表で
活動の成果を
報告しよう！

●第9回東京大会 大会プログラム

1日目 10月3日 開場9:30

[午前の部] 第1会場:タワーホール(49F)

10:00~10:40 開会式

10:45~11:45 **創立10周年記念講演 わが国はどこに向かうのか(仮題)**
藤原正彦(数学者/お茶の水女子大学名誉教授)

[午後の部] 第1会場:タワーホール(49F)

12:45~13:15 **【基調講演1】 2025年に向けた地域医療構想の実現と展望**
吉田 学(厚生労働省医政局長)

13:15~13:45 **【基調講演2】 新たな医療提供体制の構築とこれからの病床機能**
相澤孝夫(一般社団法人日本病院会会長)

14:00~16:50 **全国医療経営士 地域支部代表者講演**

17:00~18:00 **【特別座談会】 医療経営士の時代! 新たなる経営改革と地域社会貢献への挑戦——今こそ問われる“突破力”と“創造力”**
川淵孝一(東京医科歯科大学大学院医療経済学分野教授) ※座長
大友克之(朝日大学学長)
末吉 敦(医療法人徳洲会宇治徳洲会病院院長)
中村彰吾(公益社団法人医療病院管理研究協会理事)
※登壇者1名調整中

[夜の部] 第3会場:ライブラリーカフェ(49F)

18:30~20:30 **懇親会(全国医療経営士情報交換会)**

2日目 10月4日 開場8:30

[午前の部] 第2会場:スカイスタジオ(49F)

9:00~10:05 **第2回(2019年度)「医療経営に関する研究助成」最終報告会**
真野俊樹(中央大学ビジネススクール・大学院戦略経営研究科教授) ※座長

10:20~11:05 **第2回懸賞論文「日本医療経営実践賞」表彰式・講演・ディスカッション**

[午後の部] 第1会場:タワーホール(49F)

13:00~15:50 **医療経営士による演題発表**
吉長成恭(広島経済大学特別客員教授) ※座長

16:00~17:00 **【特別講演】 日本の頭脳が示すこれからの医療・福祉——データサイエンスで変わる未来の医療**
宮田裕章(慶應義塾大学医学部医療政策・管理学教室教授)

17:00~17:20 **演題発表講評・表彰**

17:20~17:25 **閉会の辞**

※4月20日現在。敬称略。プログラムは諸般の事情により変更になる場合がございます。

化」の最終報告会、第2回懸賞論文「日本医療経営実践賞」の表彰式・受賞者による講演・ディスカッションが行われる。昨年の仙台大会で開催された第1回研究助成の最終報告会には、朝早くからの開会にもかかわらず、多くの医療関係者が足を運んだ。今年も3組の助成対象者が1年間の研究成果を報告するが、今後の医療および医療経営

を検討するための大きなヒントを得ていただきたい。午後の部では、いよいよ医療経営士による演題発表だ。今大会では1日目に「全国医療経営士地域支部代表者講演」を実施することから、「支部推薦部門」を廃止。自由応募による「公募部門」のみとし、6人の登壇者(予定)が2つのセッションに分かれて実践活動を報告する。発表時間は

1人当たり約15分、審査委員長は広島経済大学特別客員教授の吉長成恭氏が務める。我こそはと思う方からの積極果敢な挑戦をお待ちしている。演題発表のあとは、慶應義塾大学医学部医療政策・管理学教室教授で、NHK「クローズアップ現代+」でおなじみの宮田裕章氏による特別講演を実施。「日本の頭脳が示すこれからの医

療・福祉——データサイエンスで変わる未来の医療」をテーマにお話しいただく。その後、演題発表の講評および表彰式、次いで閉会挨拶が行われ、2日間の大会は幕を閉じる。新型コロナウイルスの影響で先行きが不透明な状況が続いているが、1日も早く事態が収束し、万全の体制で大会を迎えられることを期待したい。

現場の思いに寄り添える 伴走者でありたい



[イノベーション賞/支部推薦]
林 賢二氏 (東北支部)
医療法人社団ときわ会
理事長付参与

東北支部事務局から演題発表のお話をいただき、地元東北支部を盛り上げるためにも応募してみよう、そんな軽い気持ちから始まりました。

私の演題は経営改善に関する内容でした。発表で使用した現状分析や活動方針、経営指標と実績の比較などの資料、その要約やスライドは、経営幹部への報告・解説用に用意してあったものに、表紙と考察を付け加えました。日々の取り組みを評価していただき、自信につながりました。

仙台大会に参加できず、発表内容をご存じない方もいらっしゃると思います。もし、ご興味のある方はご連絡ください。時間の都合上、割愛した内容も多かったのですが、補足説明いたします。

医療経営士の役割とは何であろうかと考えたときに連想した姿のひとつは、ブラインドランナーの伴走者でした。東京大会では演題発表や抄録集などを通して、そのような活動をしている医療経営士に出会えたら、うれしく思います。

新型コロナ感染拡大後の東京大会 だからこそ発表する意義がある!



[ユニーク賞/支部推薦]
横山英宗氏 (九州支部)
有限会社Willmake 143取締役
医科歯科連携部門

人口減少・高齢化が進む北海道妹背牛町で、「フレイル予防」のモデル事業を構築するために、妹背牛町役場、資生堂ジャパン、定岡歯科医院と弊社で取り組んでいた「通いの場」の事例を発表しました。

発表に向けて、数年間の活動を振り返ると、たくさんの方々に応援していただいたこと、人と人とのつながりで活動の輪が広がっていったことが再確認できました。発表後のディスカッション・質疑応答で、審査委員の先生方や会場から、たくさん示唆をいただいたことが財産になりました。

新型コロナウイルスの感染拡大に伴う影響で、人が集まるという意味での「通いの場」の運営は難しくなりましたが、「新しい通いの場」の定義を創り出したいと思っています。

アフター・コロナやウィズ・コロナの時代になると、今までの常識は通用しなくなります。だからこそ東京大会で発表する意義はとても大きなものになります。ぜひチャレンジしてください!

自身の経験や成果を アピールする絶好の機会



[東北支部長賞/公募]
葛西直哉氏 (東北支部)
青森保健生活協同組合
本部総務部施設設備課長

東北支部の事務局の方から演題発表の打診を受け、紆余曲折がありながらも検討を重ねた結果、発表させていただくことになりました。

私の演題テーマは「施設課業務からの経営貢献」です。設備(電気、機械)や建築など専門性の高い内容でしたが、あまり簡易な表現にしてしまうと、かえって本質が伝わりにくくなるため、写真や根拠をわかりやすくまとめた資料とスピーチで一体感のある表現を心がけました。

発表後、会場内で多くの方からご挨拶をいただき、名刺交換する機会がありました。地元にも多くの医療経営士がいることがわかり、交流の幅や見識を広げることができました。

たとえ専門性が高く万人が理解しにくい内容であっても、自身の経験や成果を大いにアピールすることは非常に大事だと思います。東京大会で演題発表にチャレンジされる皆さんは、ぜひ、がんばってください!

将来を見通す力を養い、2040年に向けた病院経営を考える

2020年度「石井ゼミ」開催決定!

6年前に初めて開催されて以来、さまざまな支部で実施されてきた「石井ゼミ」。多摩大学医療・介護ソリューション研究所副所長の石井富美氏が講師を務め、医療機関の経営企画を担う人材の育成、レベルアップを目指す同ゼミが2020年度も開催されることが決定した。

※いずれも4月15日時点の情報です。開催日時などの最新情報は当協会ホームページ等をご確認ください。

石井富美先生からのメッセージ



**ディスカッション
しながら、皆で学びを
深めましょう!**

診療報酬改定の基本方針などでも示されていた「2040年を展望した社会保障と働き方改革」については、目指す方向性は示されているものの、まずは日々の業務が最優先で何をどう変えていけばよいかを考える余裕もない、というのが実情かもしれません。急転直下の大改革も刺激的ではありますが、できれば計画的に無理せず変化していきたいものです。

そのためには、しっかりとした分析に基づく目標設定が大切です。中長期の事業計画を立て、それを進めていく人材を育てることで、医療界にとっての「変革期」を安心して過ごすことができます。この機会に自分の病院、施設のあるべき姿を見つめ直し、何を目標に、どのように自分たちが動いていけばよいかを多職種、多施設の方々とディスカッションしながら学びましょう。

今期の関東支部の石井ゼミでは、「2040年に向けた病院経営を考える」をテーマに、中長期経営改革の作成、事業計画の目標設定、進捗管理などを4回シリーズで学びます。

診療報酬をはじめ、医療を取り巻く政策の動向、人生100年時代の働き方への対応方法などを知り、自分たちの職場でどのようなことが起こるのかを考えていきます。そして、中長期経営戦略から考える事業計画の意味と必要性を知り、各種の統計データや自施設の実績データをもとに将来を予測し、エビデンスベースの計画をつくり、現場で実行していくスキルを身につけていきましょう。

毎回グループワークを行います。気負わず自由に発言することで一人では導き出せなかった課題や解決方法に気づくこともありますので、ぜひ参加してみてください。

**関東支部で
6月からスタート!**

高齢者人口がピークアウトに転じる2040年は、人口構造や疾病構造も大きく変化するため、医療機関の役割も今とは違ったものになっていく。そうした変革期に向けて、どのような経営の舵取りが必要なのか、また、そのなかで医療経営士をはじめとした経営人材が担うべき役割とは何かを考えることが求められている。

そこで関東支部では、6月から4回にわたって「2040年に向けた病院経営を考える」をテーマにしたゼミをスタートする。第1回（6月6日（土）



医療職の思考法を学び、現場を巻き込む力を養う「実務のレベルアップを図る石井ゼミ」(2019年6月開催)

14〜17時予定)では、各種統計データや政策(Society 5.0、働き方改革、人生100年時代構想など)から2040年の病院の姿を予測するとともに、中長期的な視点を持った、視野の広い人材育成の重要性を解説。併せて、2020年度診療報酬改定の影響も紹介する。

2回目以降は、病院の役割や将来像を踏まえて中長期事業計画を策定し、さら

にそれを年度計画に落とし込んで、実行につなげていくまでの流れを学ぶ。また、この過程に必要な、エビデンスに基づく計画をつくるための現状の課題抽出、データ分析の方法、計画を進めるためのチームビルディングや多職種間コミュニケーションのあり方、▽相手に「伝わる」プレゼンテーションの方法、▽目標達成のための目標値(KGI)と業績指標(KPI)の設定の仕方と管理手法——などの取得を目指す。

2040年を見据えて自組織の経営戦略を考え、その実現に向けて組織を巻き込んで旗振り役を担うことが求められる医療経営士たち。周囲の期待に応えるた



自由な雰囲気なか、多職種でアイデアを出し合うグループワーク
[右]「採用される企画を提案しよう 石井ゼミin東北」(2019年5月開催)
[左]「医療・介護・栄養でイノベーションを起こすための石井ゼミin東北」(2018年7月開催)

めにも、ぜひ石井ゼミでその力を養っていただきたい。さらに7月からは、東北支部で医療経営士・介護福祉経営士・栄養経営士を対象とした「石井ゼミin東北」もスタートする予定。詳細が決定次第、ホームページ等で告知するので、こちらも確認いただきたい。

日本ヘルスケア経営学院 公開講座 WEBセミナー

2020年度診療報酬改定 重要ポイント徹底解説

PC、スマホ、タブレットで
受講できる
[病院編] [診療所編]
大好評配信中!

WEB
セミナー
概要

- 講義時間：約60～70分
- 参加料：各2,000円＋税
- 配信期間：2020年6月30日まで

- 講師：「病院編」猪口雄二氏(全日本病院協会会長) [写真左]
「診療所編」小松大介氏(株式会社メディアヴァ取締役) [写真右]
- 専用サイト：<https://hcmi-s.net/>

